

はぐくみ校 事例紹介 宮城大学 食産業学群



「宮城大学チアーズ農園」プロジェクト

宮城大学×イオングループ



ポイント

☑産学連携で**宮城大学の学生が先生役**になり、小中学生を対象とした食農体験を実現するプロジェクトを運営

☑教える大学生、教わる小中学生の双方が**自分事として将来の食と農業を楽しく体験しながら共に考える場**！



宮城大学の学生は、子供たちを受け入れるだけでなく、
「農園」の企画、運営、管理を担う中で、**自分たちの
やってみたい農業のイメージを実践**できる！

【構成】

宮城大学学生：23名（女性19人、男性4人）

農業女子のやりたいを実現！（男性も！）

小中学生：21人（小学生19人、中学生2人）

※第1回の参加者

サポート：宮城大学の教員、
イオングループのCSR担当スタッフ

【活動内容】

イオンチアーズクラブは、イオンの各店舗で小中学生を募集・チアーズクラブを組織化し、月に1回活動。

年に4回、体験学習の機会として宮城大学チアーズ農園で大学生からの農作業等の体験学習を行う。

子供たちが楽しく体験できるように大学生が農作物の栽培管理を行い、説明内容を考え、実践する。



宮城大学による学生生活活動の狙い

本学では、農業、食産業への人材育成・供給を担う教育機関として、農場実習を始めとするカリキュラムを学生に提供。

しかし、限られた講義・演習時間内では、学生は受け身にならざるを得ず、学生の主体的な学びと実践の場の提供が課題。

産学連携で双方の資源、強みを活かし、未来世代が自分事となるwin-winの取組を楽しく実現。

【取組を開始してみて分かったこと】

- ・ 学生の実際にやってみたいの気持ちが極めて強い！
(特に女性：農業女子？)

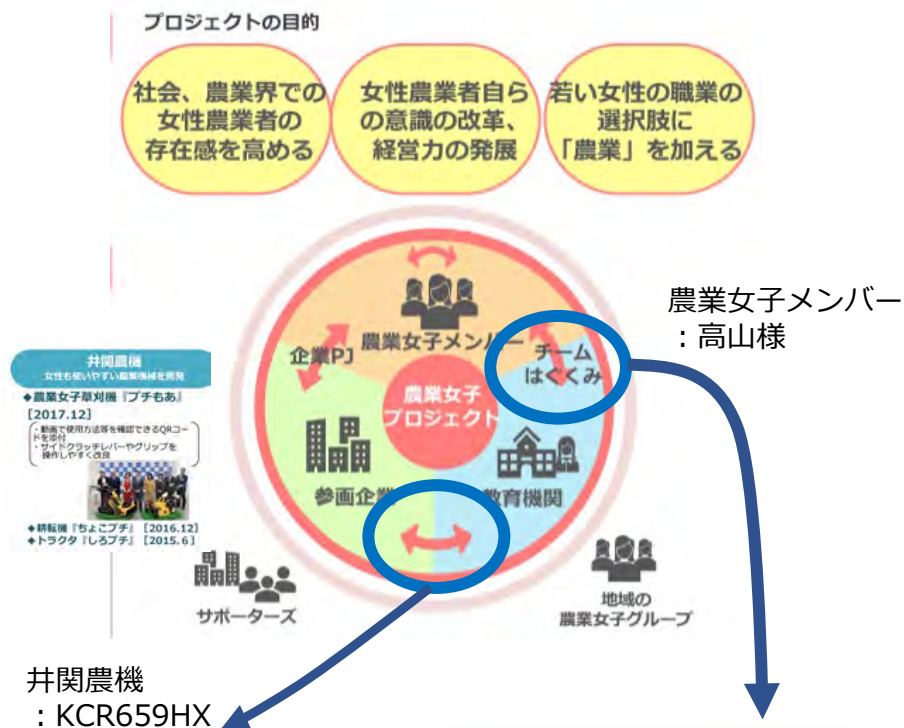


農業女子のやりたいを実現！



近い将来の農業分野への就職、就農、起業をはぐくむ！

※農業女子P Jで「産官学連携」へ



(イメージ)
使いやすい農具や管理機などの紹介・導入。管理機等の安全な使い方の指導・体験会を井関農機(株)の協力で実施！



(イメージ)
栽培の工夫、品目選択、食べ方の提案などを農業女子メンバー(高山真理子さん)に指導してもらう予定！

活動における作戦のポイント

- ・子供たちが楽しく、農業を好きになってもらうことが目的。
- ・学生のみみんなが楽しくなければ、子供たちは楽しくならない！

宮城大学チアーズ農園の活動：作戦その1：さつまいもを作って食べるまで





育つ！多分・・・。

どれだけ取れるかわからない
ので少し多めに植える・・・。



楽しく掘れた！



Lacuno ショベル（桜三二）
が子供も含めて使いやすい！



真剣に掘る！

出来た芋はロスに
しない！



大学祭での販売収益は
「子供食堂の支援」に
イオン東北(株)様を通じて寄付！

作戦その2：ミニトマトを作って食べるまで



誘引と芽かき、
これで良いのか！？



侵入者！



守る！



実っている・・・。



食べよう！



作戦その3：ひまわりで楽しむ！





間に合いました！



種が実る。



乾燥しました！



農福連携



障害者就労支援施設で種を選別していただいています。
ひまわり油、搾れるか！

作戦その4：学食の残飯のたい肥でタマネギの環境負荷低減栽培にチャレンジ！



乾燥たい肥



子供たちに撒いてもらう。



学生が本気で撒く。

学生が成分分析・施肥設計！



もう、耕運機使えます！



キャンパスの落ち葉も利用！



たまねぎ定植！

※みどり戦略学生チャレンジに取組報告しています！

作戦その5：来年に向けた農機具利用のスキルアップ！

耕運機、ハンマーナイフモア、トラクターの安全使用講習会



「プチもあ」の練習！



安全を習う。



試す。



使う！

爽快地に刈れる！
旋回し易い・・・。



井関農機の皆さまありがとうございました。楽しかったです！

まとめ

☑初年度として、学生、子供たち、産学、地域の関係者など参加者すべてに大変多くの気付きと学びがあり、取組の効果を実感。

☑学生の入れ替わり時期をいかに円滑に乗り切り、持続的な活動とできるかが眼前の課題。

☑今後は、農業女子PJ仕様の農機具等の本格活用、地域の農業女子（高山様）との連携の本格化でもっと楽しい体験と学びの場に！